

「宇宙インフラの利活用人材をどう育成するか」国際セミナーのご案内

宇宙・地理空間技術による革新的ソーシャルサービス・コンソーシアム (GESTISS)」主催
(東京大学・空間情報科学研究センター、慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科、東京海洋大学・海事システム工学部門)

共催:測位航法学会、地理情報システム学会、国際システムズエンジニアリング協議会
(INCOSE) 日本支部

衛星による観測、測位、通信を中核とする宇宙インフラの整備が進む一方で、携帯電話による地上ネットワークが爆発的に拡大しています。衛星画像やデジタル地図といった背景情報も世界的に整備・公開が進んでおり、どこで何が起きているのか、何がどう活動しているのかを迅速に把握・解析する環境が世界スケールで整いつつあります。

この環境変化は、地上での観測やデータ収集だけを前提に展開されてきたさまざまな社会・公共的なサービス、例えば、防災・災害対応、都市・交通管理、物流管理、営農支援、森林管理、公衆衛生、海洋資源管理などのあり方を、世界規模で大きく変えるポテンシャルを持っています。

こうした時代には、個別システム・設備をそれぞれ展開するだけでなく、宇宙インフラと地上インフラを統合しながら、さまざまな社会公共サービス、ソーシャルサービスを再構築し、あるいは創りあげることが一層重要になります。こうしたデザイン・マネジメントのできる人材を育てるにはどうすべきでしょうか？また産業、公共、教育・学術セクターはどのように協力し、何をすべきでしょうか？

まず、議論のスタートポイントとして東京大学・慶應義塾大学・東京海洋大学によって進められている「宇宙インフラ活用人材育成のための大学連携国際教育プログラム」(宇宙利用促進調整委託費：文部科学省)の試みを紹介します。それを元に各分野の方々からさまざまな提案・アドバイスをいただき、今後の方向を議論します。皆様のご参加をお持ちしております。

日時：平成 25 年 3 月 4 日 午後 1 時から 5 時半

場所:慶應義塾大学三田キャンパス北館ホール(<http://www.keio.ac.jp/ja/access/mita.html>)

申し込み：不要

参加費：無料

■プログラム

開会：柴崎亮介（東京大学） 13:00-13:05

挨拶：柳 孝（文部科学省 研究開発局 宇宙開発利用推進課 課長） 13:05-13:15

1. 宇宙インフラ利用人材育成プログラムの全体構成 柴崎亮介（東京大学） 13:15-13:30

2. 宇宙インフラ利用人材育成プログラムにおける個別分野の取り組みの現状

13:30-14:30

システムデザイン・プロジェクトマネジメント : 神武直彦（慶應義塾大学）

衛星観測（リモートセンシング） : 柴崎亮介（東京大学）

衛星測位 : 久保信明（東京海洋大学）

宇宙工学 : 海老沼拓史（東京大学）

地理空間情報工学 : 柴崎亮介（東京大学）

インターンシップや企業等との共同プロジェクト : 神武直彦（慶應義塾大学）

休憩（14:30-14:45）

3. 宇宙インフラ利用人材育成プログラムへの期待・要望 14:45-17:00

（スピーカーは交渉中）

産業界から（(株) IHI、(財) 衛星測位利用推進センター等）

行政の立場から（内閣府、国交省、JAXA 等）

国際協力の立場から（JICA 等）

教育・研究者の立場から

海外からの期待（RIMES 等）

学生・若手研究者の立場から

4. 討議 17:00-17:25

5. 閉会 17:25-17:30